

2026年3月期 期末決算説明資料

2026年5月14日
ドリームベッド株式会社

売上高、利益とも順調に伸長し、増収・増益となり(2期連続)、中期経営計画最終年度の計画も大幅に達成。 ROE等の収益率も着実に向上。

損益計算書

	(百万円)				前回発表予想	実績/予想乖離	中計KPI
	25/3月期	26/3月期	増減	増減率			
売上高	11,509	12,174	665	5.8%	11,900	2.3%	11,000
売上総利益	6,000	6,370	370	6.2%	—	—	—
営業利益	595	703	108	18.1%	680	3.4%	680
経常利益	583	686	103	17.7%	640	7.2%	—
当期純利益	415	479	64	15.6%	440	8.9%	—
売上高総利益率	52.1%	52.3%	0.2%				
売上高営業利益率	5.2%	5.8%	0.6%				
ROE(自己資本利益率)	9.5%	10.3%	0.8%				

売上高は、各販売経路とも順調に増加し、12,174百万円となり過去最高を計上。

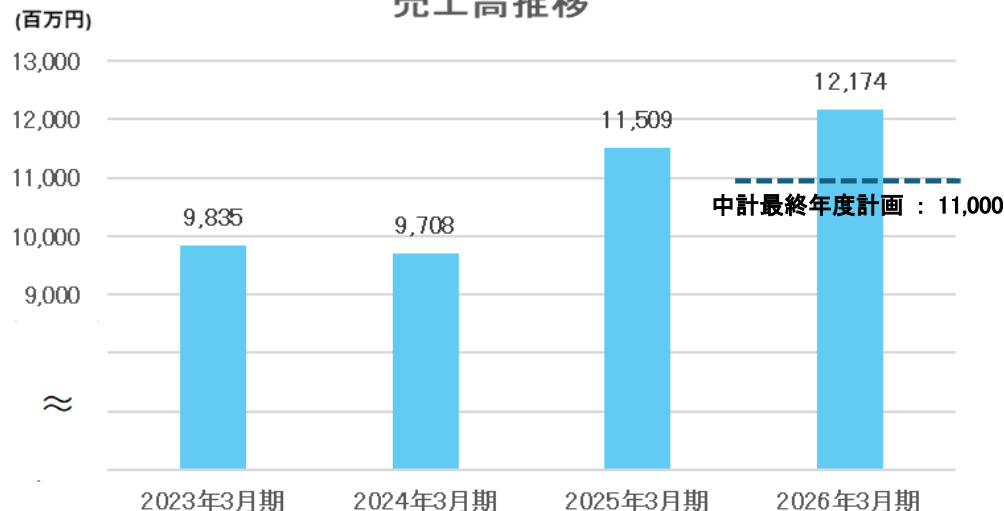
損益計算書

	25/3月期	26/3月期	(百万円) 増減
売上高	11,509	12,174	665
売上総利益	6,000	6,370	370
営業利益	595	703	108
経常利益	583	686	103
当期純利益	415	479	64

※ 販売経路別売上状況

	25/3月期	26/3月期	(百万円) 増減
家具販売店向け	8,424	8,503	80
商業施設向け	1,473	1,803	331
ショップ ^o /ショールーム	1,504	1,702	199
その他	109	165	56
合計	11,509	12,174	665

売上高推移



主な増減要因

マットレスはSertaブランドのスイートシリーズ、dreambedブランドの新商品(ピュアドリーム)を重点商品として販売強化。ラグジュアリーホテルとのコラボ企画も実施。約40年振りの新ブランドKING KOIL(キングコイル)の展示導入も好調な滑り出し。ligne roset(リーン・ロゼ)については、ソファを中心に販売は堅調に推移。

インバウンドの増加によりホテル業界の宿泊稼働率は引き続き高水準にあり、ホテル新設やマットレスの入替需要は旺盛。新ブランド(KING KOIL)の新規採用も好調。

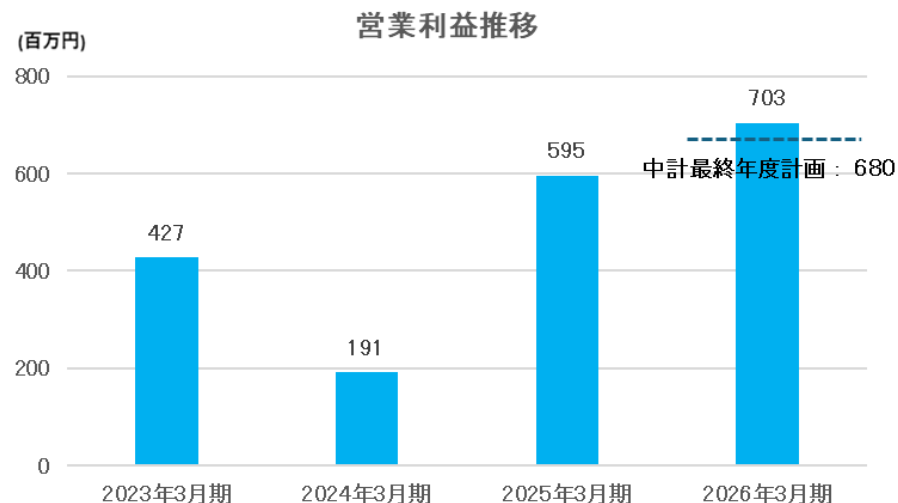
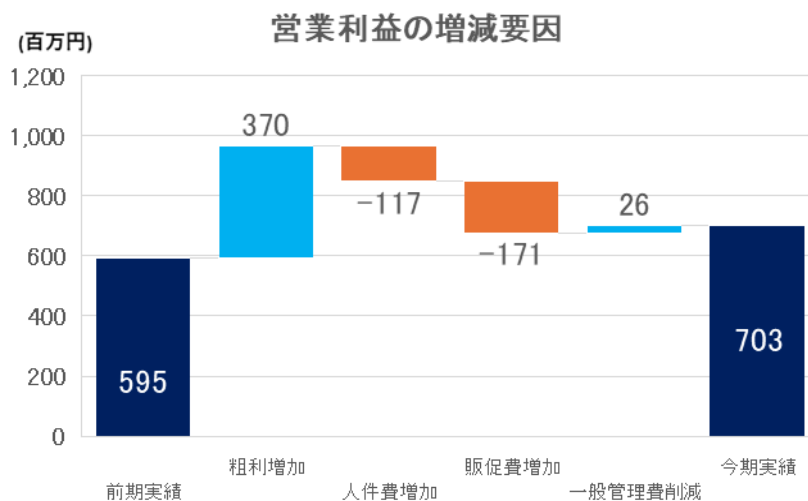
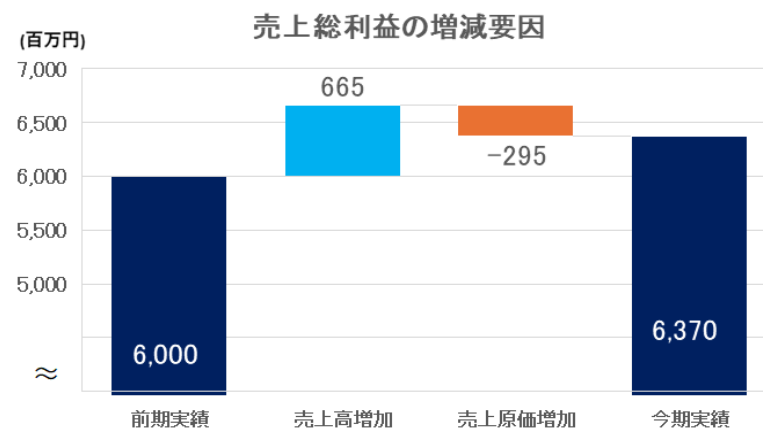
ショップにおいてはligne rosetデザイナー企画等の実施や、新モデルのロゼカシマ投入により販売は好調に推移。ショールームにおいては、法人誘致を積極的に展開。チャネルについては、東京ショールームやリーン・ロゼ新宿の増床リニューアル等を実施。

第2四半期より開始した海外輸出(OEM供給)はインドネシア、マレーシアへの本格輸出に加え、中国へのトライアル輸出も開始。ligne rosetをはじめとした直販ECも売上増加に寄与。

売上総利益は、原材料等のコスト上昇を売上増や高利益率商品の拡販で吸収し増益。営業利益も、人件費や売上増にともなう販促費等経費の増加を粗利益の増加で吸収し、上場来最高となる703百万円。

損益計算書

	25/3月期	26/3月期	(百万円) 増減
売上高	11,509	12,174	665
売上総利益	6,000	6,370	370
営業利益	595	703	108
経常利益	583	686	103
当期純利益	415	479	64

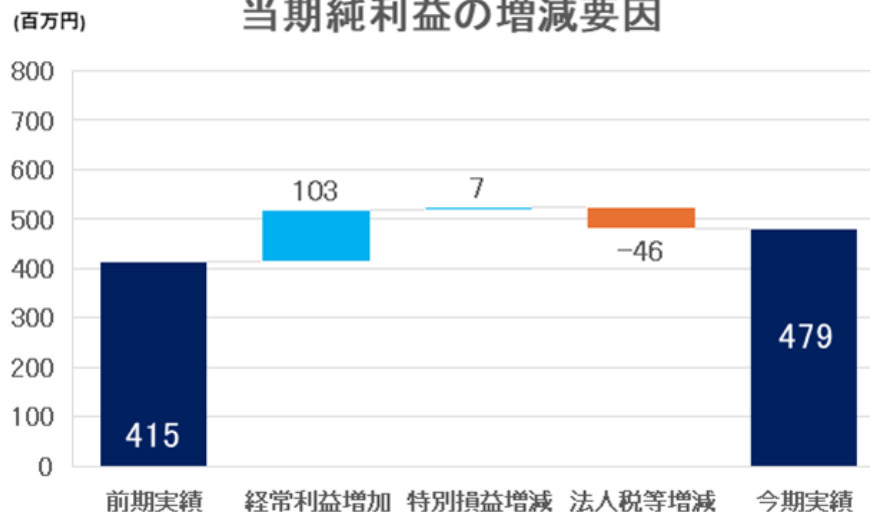


当期純利益も、479百万円となり上場来最高。
ROE(自己資本利益率)も順調に増加(中計の計画値12.0%は未達)。

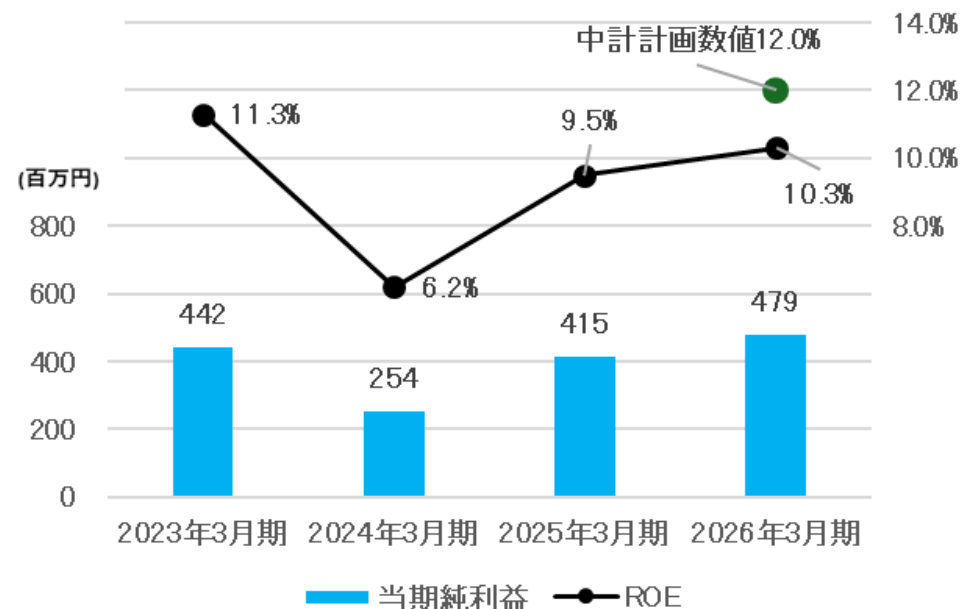
損益計算書

	(百万円)		
	25/3月期	26/3月期	増減
売上高	11,509	12,174	665
売上総利益	6,000	6,370	370
営業利益	595	703	108
経常利益	583	686	103
当期純利益	415	479	64

当期純利益の増減要因



当期純利益とROE推移



- ・資産の部は、売上増に伴う営業債権、棚卸資産や無形固定資産(ソフトウェア)の増加等により、前期比+245百万円の11,513百万円。
- ・負債の部は、営業債務(支払手形)の減少等により、前期比△90百万円の6,669百万円。
- ・純資産の部は、利益積上げにより+336百万円の4,844百万円、自己資本比率は2.1%向上し42.1%。

貸借対照表

資産の部				負債・純資産の部			
	25/3月末	26/3月末	増減		25/3月末	26/3月末	増減
現金及び現金同等物	797	649	△ 147	営業債務	760	349	△ 411
営業債権	2,325	2,475	150	有利子負債	2,296	2,720	424
棚卸資産	1,172	1,280	108	その他	1,645	1,447	△ 198
その他	161	148	△ 13	流動負債合計	4,701	4,517	△ 184
流動資産合計	4,456	4,554	97	有利子負債	1,607	1,705	98
有形固定資産	6,210	6,101	△ 109	その他	450	446	△ 4
無形固定資産	88	267	179	固定負債合計	2,058	2,151	93
投資その他資産	512	589	77	負債合計	6,759	6,669	△ 90
固定資産合計	6,810	6,959	149	純資産合計	4,508	4,844	336
資産合計	11,267	11,513	245	負債・純資産合計	11,267	11,513	245
				自己資本比率	40.0%	42.1%	2.1%

注) 取適法の改正に対応し支払手形を廃止。
これに伴う運転資金の増加を短期借入金にて対応。

フリーキャッシュフローは、取引条件の変更や、投資増等により△475百万円。これを財務調達により対応した結果、現金及び現金同等物は前期比△147百万円。

キャッシュフロー計算書

	(百万円)			(百万円)	
	25/3月期	26/3月期		25/3月期	26/3月期
営業活動によるCF	481	110 ^{注1}	財務活動によるCF	△ 55	328
税引前当期利益	573	683	短期借入金	303	424
減価償却費	349	408	長期借入金	△ 200	100
営業債権の増減	△ 181	△ 150	配当他	△ 158	△ 195
棚卸資産の増減	△ 138	△ 107			
営業債務の増減	△ 165	△ 408	現金&現金同等物の増減	91	△ 147
その他	44	△ 315	現金&現金同等物期末残高	747	599
投資活動によるCF	△ 335	△ 586 ^{注2}			
設備投資	△ 272	△ 348			
その他投融资等	△ 63	△ 238			
FCF	146	△ 475			

注1 営業CFの前期比減少要因
 ・支払手形の廃止(取適法対応)に伴う営業債務の減少
 ・法人税の増加
 ・工場新設に伴う未払消費税の特殊要因の剥落

注2 投資CFの前期比減少要因
 ・店舗、機械設備投資の増加
 ・システム更改に伴うソフトウェア増加

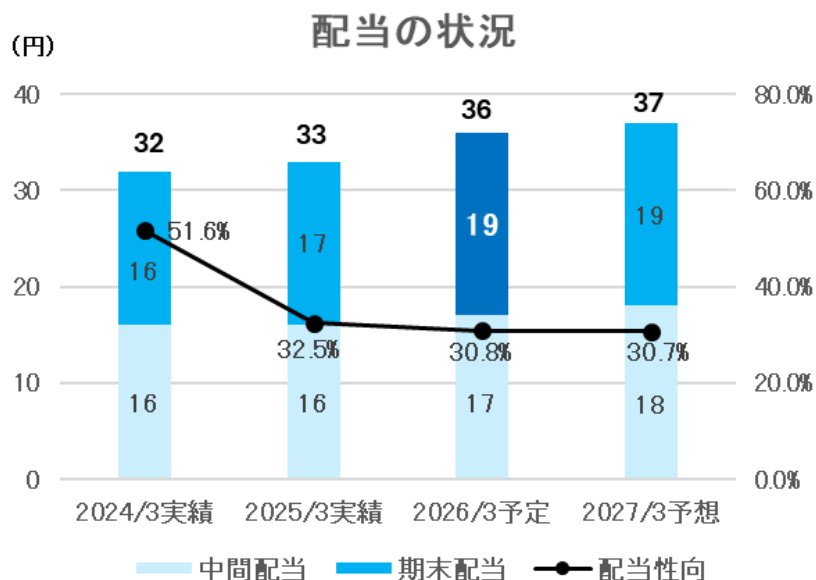
■2026年3月期 期末配当

2026年3月期 期末配当は、従来の予想1株あたり17円00銭に、当社創業75周年の記念配当2円を加え、1株あたり19円00銭(年間配当36円)の予定。
2027年3月期の年間配当は37円を予想。

配当の状況

基準日	1株あたり配当金		
	第2四半期末	期末	合計
2025/3月期実績	16円00銭	17円00銭	33円00銭
2026/3月期予定	17円00銭	19円00銭	36円00銭
2027/3月期予想	18円00銭	19円00銭	37円00銭

(含創業75周年記念配当2円)

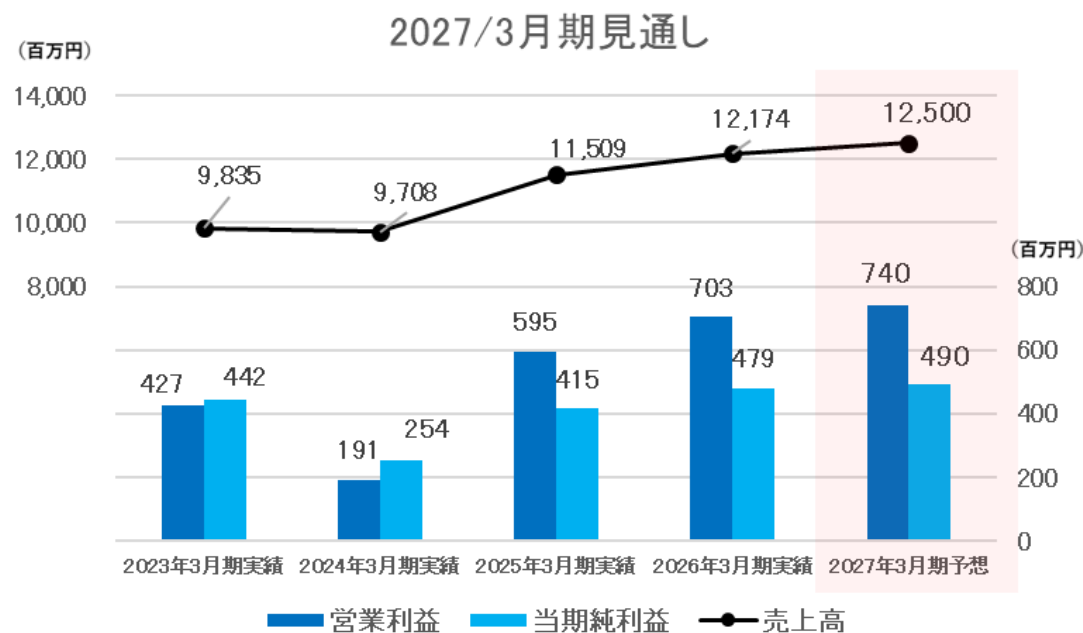


■2027年3月期 業績見通し

2027年3月期は下記の通り増収・増益を見込む。

売上高 12,500百万円(前期比+2.7%)
営業利益 740百万円(前期比+5.3%)
純利益 490百万円(前期比+2.1%)

※中東情勢が落ち着く前提としての見通しになります。



- 本資料には、将来の業績に関する予想、計画、見通しなどの記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。
- 将来の業績は、主要市場の経済情報、製品需要の変動、為替相場の影響、国内外の各種規制、会計基準・慣行等の変更により、大幅に異なる可能性があることをご留意ください。
- 本資料は情報の提供を目的として作成したものであり、本資料によって何らかの行動を勧誘するものではありません。

dream bed

(お問い合わせ先)
ドリームベッド株式会社 経営企画部
<https://www.dreambed.co.jp>
keiki@dreambed.co.jp